

個人投資家の皆さまへ

大和証券グループ 会社説明会

株式会社大和証券グループ本社
執行役員 辻 朋紀

Daiwa Securities Group Inc.

目次

- I - 大和証券グループの概要 3
- II - 業績の状況 12
- III - 中期経営計画について 16
- IV - 取組みテーマ 20
 - クオリティNo.1 22
 - ハイブリッド型総合証券グループ 29
- V - 株主還元・株主優待 35
- Appendix 38

I - 大和証券グループの概要

Daiwa Securities Group Inc.

会社名 株式会社大和証券グループ本社
(証券コード: 8601)

創業日 1902年5月1日

代表者 執行役社長 CEO 中田 誠司

所在地 東京都千代田区丸の内1-9-1
グラントウキョウノースタワー

従業員数 16,256人

預り資産 55.2兆円 (大和証券)

大和証券グループ本社
Daiwa Securities Group Inc.

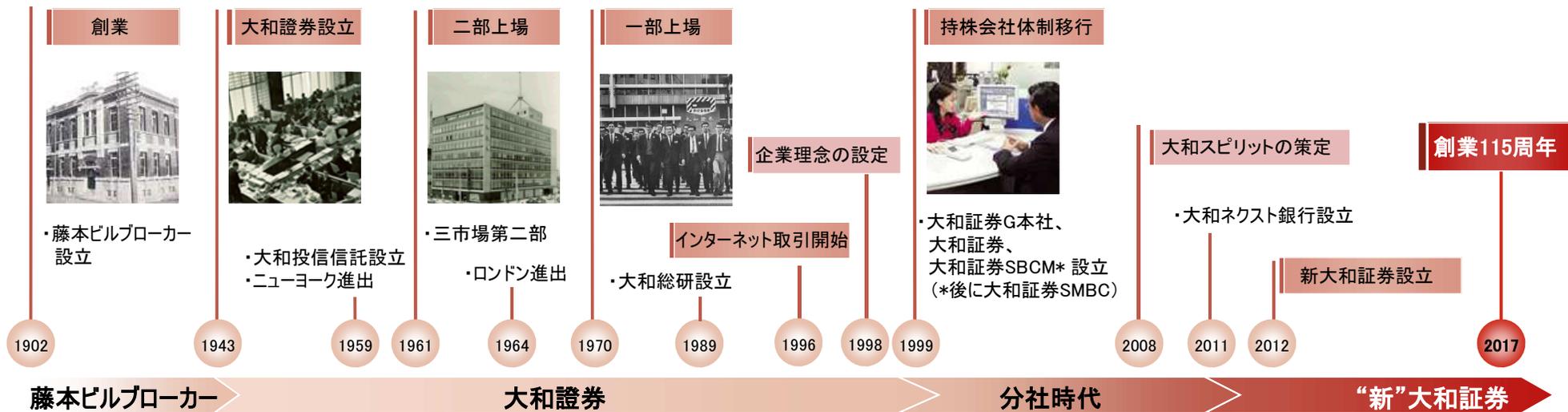


新CEO(2017年4月～)
中田 誠司
(なかた せいじ)

※従業員数は、連結グループ会社および大和住銀投信投資顧問等の合計数値

(2017年6月末現在)

大和証券グループのあゆみ

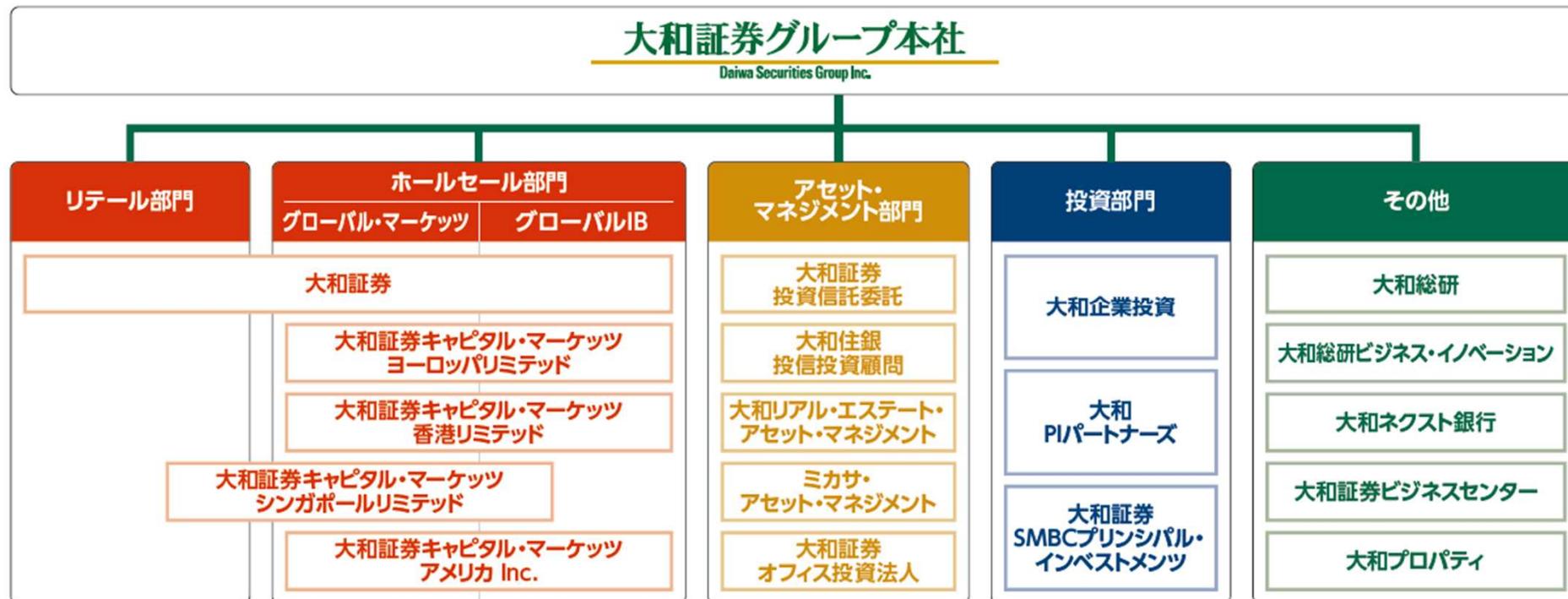


人事施策・制度導入のあゆみ



主な外部評価

<p>DJSI Asia Pacific</p> <p>7年連続で採用</p> <p>MEMBER OF Dow Jones Sustainability Indices In Collaboration with RobecoSAM</p> <p>米国ダウジョーンズ社・RobecoSAM</p>	<p>FTSE グッド・インデックス</p> <p>11期連続で採用</p> <p>FTSE4Good</p> <p>FTSE</p>	<p>GRESB 2015 “Green Star”</p> <p>4年連続で獲得 (大和証券オフィス投資法人)</p> <p>GRESB Green Star 2015</p> <p>GRESB Survey</p>	<p>金融サービス企業 男女平等指数</p> <p>2017年初選定</p> <p>Bloomberg</p>	<p>ESG関連指数</p> <p>MSCI 日本株女性活躍指数 (WIN) MSCI</p> <p>FTSE Blossom Japan Index FTSE</p>
<p>なでしこ銘柄 (女性活躍推進に優れた企業)</p> <p>3年連続で選定</p> <p>NADE SHIKO BRAND 2017</p> <p>経済産業省・東京証券取引所</p>	<p>健康経営銘柄</p> <p>3年連続で選定</p> <p>2017 健康経営銘柄</p> <p>経済産業省・東京証券取引所</p>	<p>子育てサポート認定事業主マーク</p> <p>厚生労働省</p>	<p>「仕事と介護を両立できる職場環境」整備促進の為のシンボルマーク</p> <p>仕事と介護の両立に取り組んでいます</p> <p>厚生労働省</p>	
<p>平成28年度 均等・両立推進企業表彰</p> <p>社員の仕事と育児・介護の両立を多方面からサポートしていることが評価され「ファミリー・フレンドリー企業部門」において「厚生労働大臣優良賞」を受賞</p> <p>厚生労働省</p>	<p>平成28年度 「女性が輝く先進企業表彰」</p> <p>女性を積極的に登用するとともに、19時前退社の励行や、仕事と育児・介護の両立支援等に取り組んでいることが評価され、「内閣府 特命担当大臣(男女共同参画)表彰」を受賞</p> <p>内閣府男女共同参画局</p>	<p>2016年「女性が活躍する会社 BEST 100」</p> <p>「女性活躍推進度」部門:1位</p> <p>女性社員の積極的な登用や、女性が働きやすい会社を目指して様々な取組みを継続的に実施していることが評価され選出</p> <p>日経WOMAN 日経ウーマノミクス・プロジェクト</p>	<p>就職人気ランキング</p> <p>過去最高を更新</p> <p>総合順位:6位 (男子:1位)</p> <p>(2006年総合順位:27位)</p> <p>週刊東洋経済「就職人気ランキング」 2018年卒・前半</p>	



国内店舗数：
148店舗

拠点所在地：
世界20カ国・地域

運用資産残高：
19.8兆円

プリンシパル投資残高：
1,473億円

銀行預金残高：
3.3兆円

※大和証券の数値

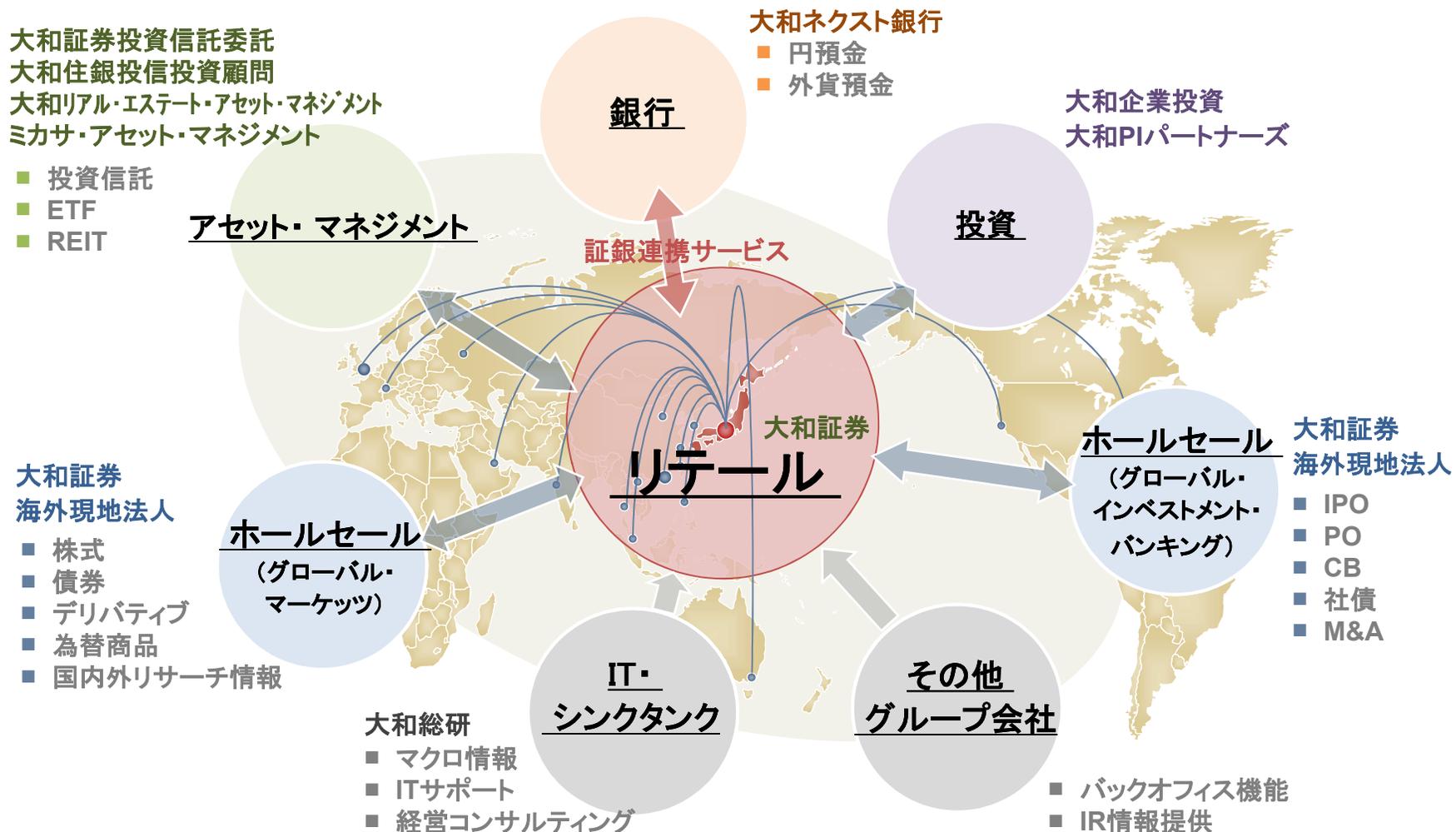
※大和証券投資信託委託（公募株投、
公募公社投）、大和住銀投信投資顧問
（公募株投、投資顧問）の合計

※PIPとDPIの合計

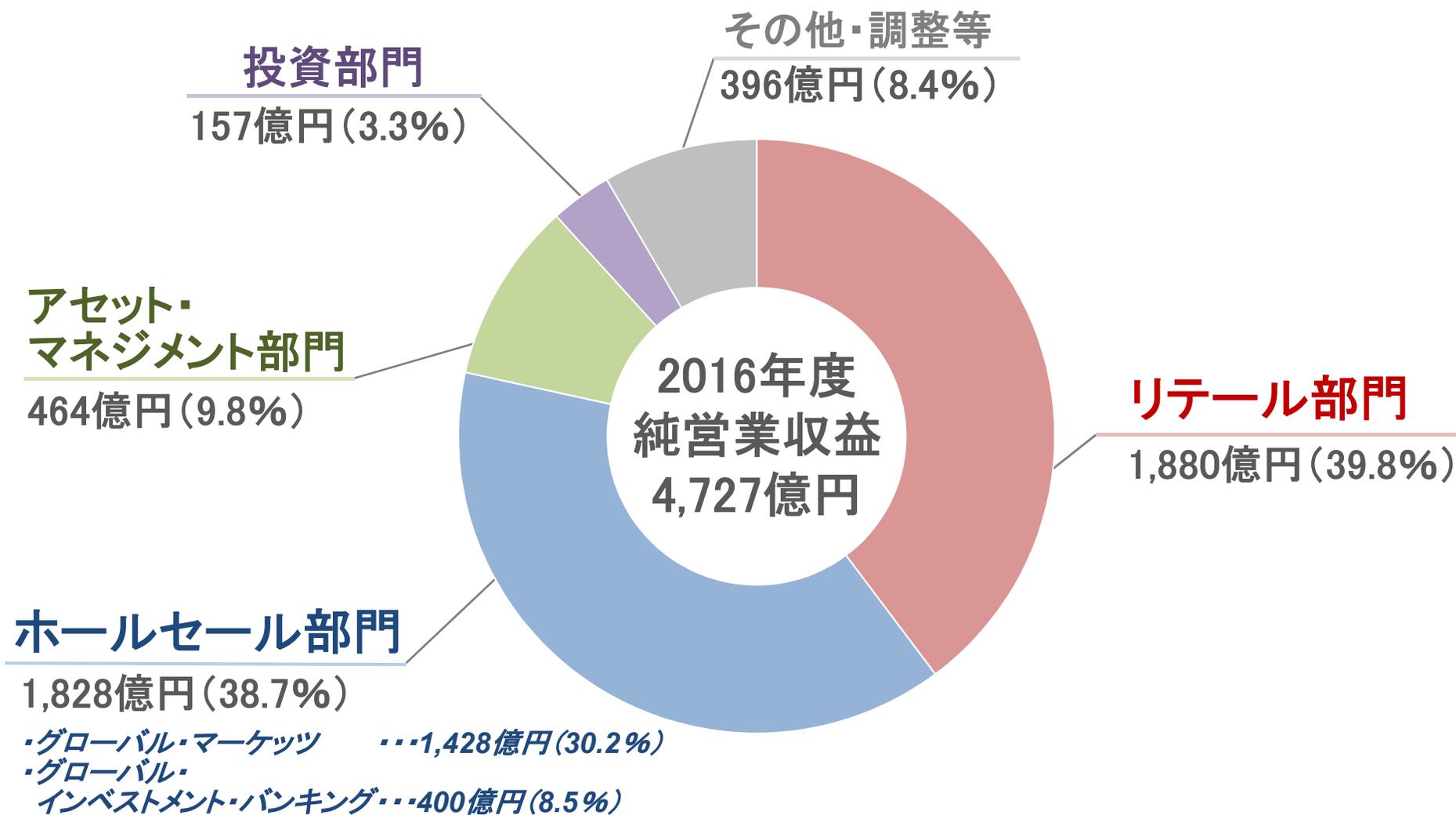
※上記の数値は大和ネクスト
銀行の数値

（2017年6月末現在）

リテール部門を中核に据え、グループ会社・国内外の全部門が連携を強化



セグメント別純営業収益割合



中心事業である国内証券ビジネスにおいては、アセット・マネジメント部門や、証券ビジネスと親和性のある周辺地域への投資を実行



2007年5月
アストマックスグループへの
出資拡大



2009年7月
ダヴィンチ・セレクト
(現、大和リアル・エステート・ア
セット・マネジメント)を
連結子会社化



2011年3月
マネーパートナーズグループの
株式(発行済株式の6.12%)を
取得(直近保有比率18.75%)



2013年3月
リテラ・クリア証券を
連結子会社化



2015年10月
GMOクリックホールディングスの
株式(発行済株式の9.58%)を
取得



2015年12月
ミカサ・アセット・マネジメントを
連結子会社化
2014年11月
ミカサ・アセット・マネジメントへの
資本参加



2016年2月
IDIインフラストラクチャーズを
連結子会社化



2017年3月
SBIベネフィット・システムズの株式
(発行済株式の33.4%)を取得

海外事業ネットワークの拡大

欧州

Daiwa Corporate Advisory



2009年5月
Close Brothers*買収
*現DC Advisory

Sanford C. Bernstein Limited



2014年4月
業務提携(欧州株リサーチ)

米国

Sagent Advisors



2007年4月
資本業務提携
(M&A)

Signal Hill



2017年7月 買収契約締結
(将来的に「DCSアドバイザー」として両社を統合予定)

インド

Ambit Private Limited



2016年12月 業務提携
(インドM&A)

タイ

Thanachart Securities



2013年2月 業務提携
(タイ株リサーチ)

2016年12月 WM業務提携
(ジャパンデスク設置)

中国

中信建投証券



2014年11月
業務提携
(中国IB・GM)

2016年12月 出資

台湾

大和國泰證券
(Daiwa-Cathay
Capital Markets)



2001年10月
合併会社設立

フィリピン

Development Bank
of Philippines



1995年3月 合併会社設立
2015年11月 業務提携
(フィリピンIB)

オーストラリア ニュージーランド

Australia and New Zealand
Banking Group



2014年2月 業務提携
(豪州・NZ M&A)

ミャンマー

Myanmar Securities
Exchange Centre (MSEC)
(ミャンマー経済銀行とのJV)



2016年2月 証券免許取得
2016年3月 取引開始

マレーシア

Affin Hwang
Investment Bank



2013年12月 業務提携
(マレーシア株リサーチ)

インドネシア

Bahana Securities



2013年9月 業務提携
(インドネシア株リサーチ・IB)

ベトナム

Saigon Securities SSI

2008年6月 資本業務提携
(ベトナムビジネス全般)

2016年4月 出資比率引き上げ
持分法適用関連会社化

韓国

Mirae Asset
Global Investments



投資信託の運用・販売に
おける協働

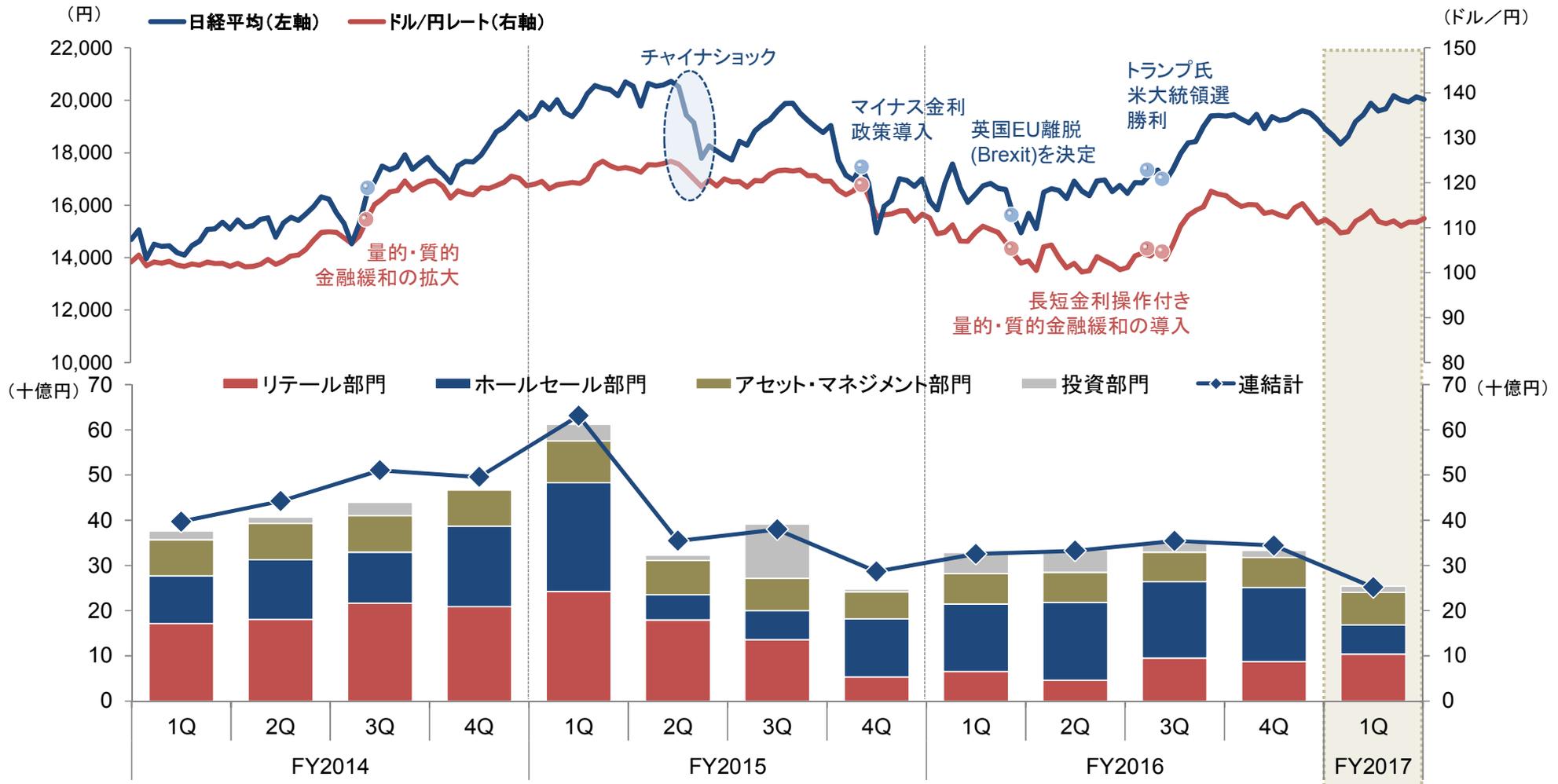
Ⅱ - 業績の状況

Daiwa Securities Group Inc.

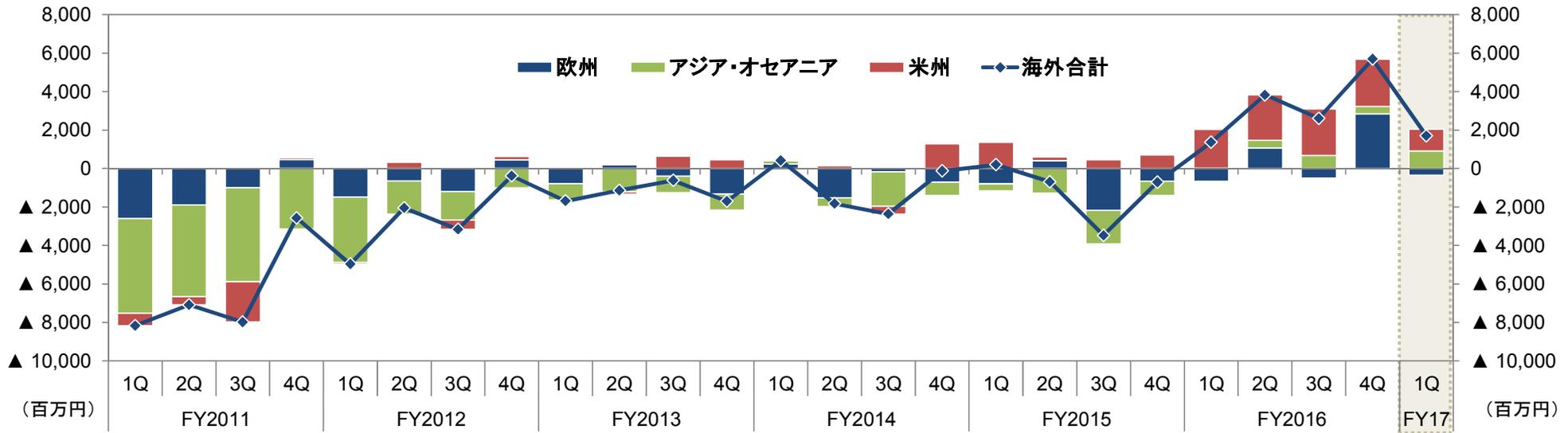
	2016年度 第1四半期	2016年度 第4四半期	2017年度 第1四半期	前四半期 比	前年同期 比	2016年度 累計
営業収益	1,518億円	1,663億円	1,596億円	-4.0%	5.1%	6,164億円
純営業収益	1,140億円	1,216億円	1,085億円	-10.8%	-4.8%	4,727億円
販売費・ 一般管理費	860億円	915億円	871億円	-4.8%	1.3%	3,536億円
経常利益	325億円	343億円	251億円	-26.9%	-22.7%	1,356億円
親会社株主に帰属する 純利益	245億円	223億円	193億円	-13.3%	-21.1%	1,040億円

グループ連結業績推移

日経平均株価、ドル/円レート(上段)、セグメント別経常利益(下段)



海外部門経常収支推移



米州

- 金利・ボラティリティの低下により債券トレーディングが減速したものの、活況な米国株式売買が収益貢献

欧州

- 2016年度第4四半期に好調であったM&Aビジネスが減収

アジア・オセアニア

- ウェルスマネジメントや海外アライアンス戦略への取組みも貢献し、収益を大きく拡大

Ⅲ - 中期経営計画について

Daiwa Securities Group Inc.

経営ビジョン

日本及びアジアの資本市場の発展をリードし
お客様に最も選ばれる総合証券グループ

経営基本方針

業界No.1のクオリティを礎に
顧客基盤を飛躍的に拡大

日本とアジアの成長を結ぶことで
持続的成長を実現

資本市場を通じて社会及び経済の発展に貢献

本格化する“貯蓄から投資の時代”の中で、業界トップのクオリティにより
お客様を惹き付け、ベストパートナーとなる

2015年度

2016年度

2017年度

“貯蓄から投資の時代”をリードする投資サービスの提供

基本方針①: クオリティNo.1の追求

- 幅広い投資家層のニーズに対応する商品・サービスプラットフォームの構築
- 資産運用力の強化
- 高度な専門性を有する人材プールの拡大

基本方針②: 顧客基盤・収益の飛躍的拡大

- 商品・サービスプラットフォームを梃子に幅広い投資家層へのアプローチを強化
- 増大する投資ニーズを捉え、顧客資産・収益を飛躍的に拡大

企業価値向上に資するソリューションの提供

基本方針③: 新規産業の育成と企業の持続的成長に対する支援

- 次世代成長企業の発掘・育成と成長資金の供給
- 企業のグローバル化、M&Aニーズへのソリューション提供

数値目標

① ROE: 10%以上

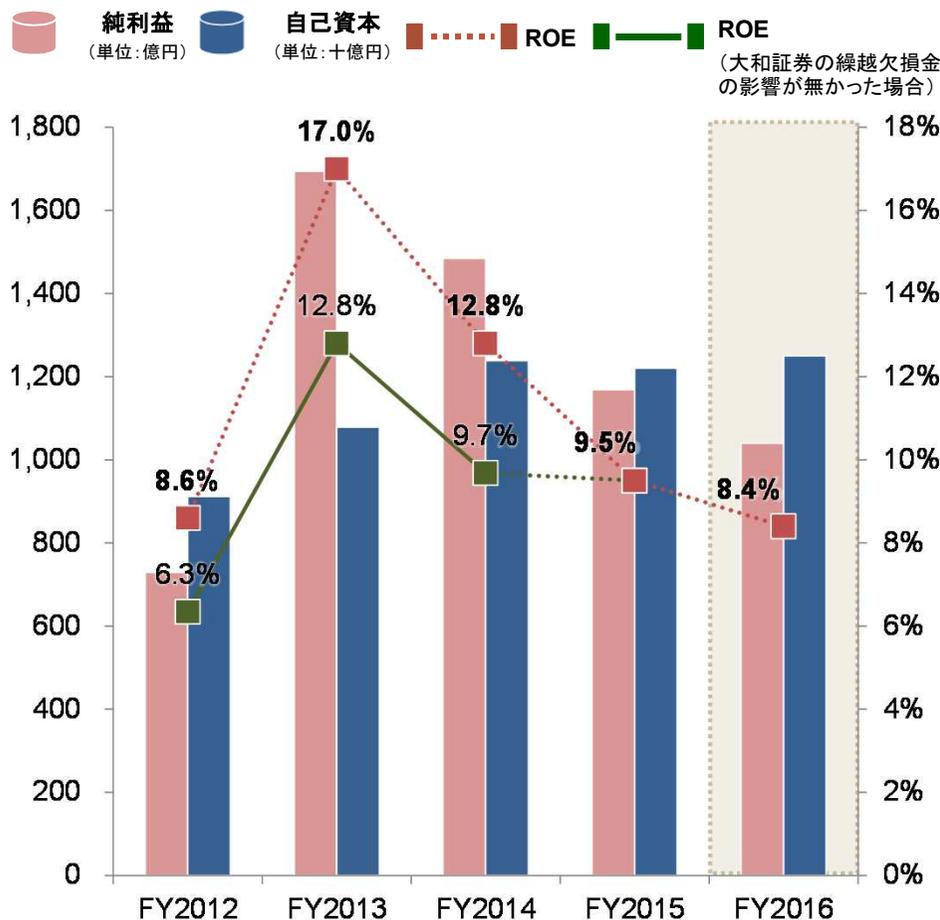
② 固定費カバー率: 最終年度 75%以上

「貯蓄から投資」と「企業価値向上」の好循環

ROE(株主資本利益率):10%以上

* ROE(Return on Shareholder Equity)

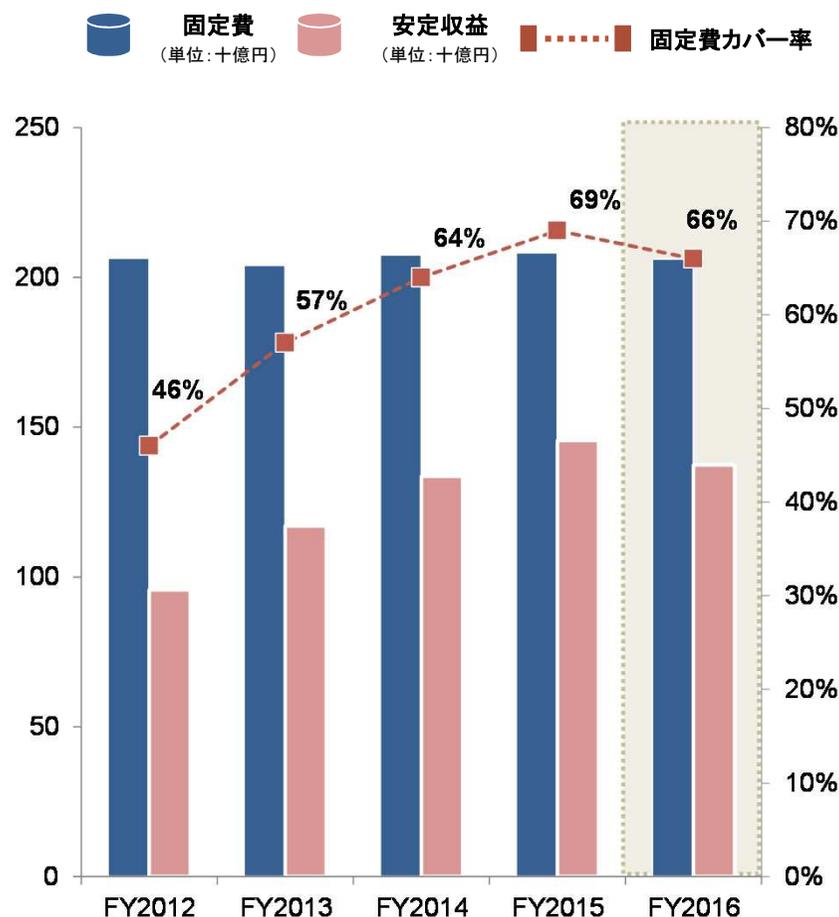
・・・当期純利益÷自己資本×100



固定費カバー率:最終年度75%以上

* 固定費カバー率

・・・固定費÷投資信託やラップ口座サービス等から得られる安定収益×100



IV- 取組みテーマ

Daiwa Securities Group Inc.

115年の歴史と共に築いてきた
大和証券グループのカルチャー・DNA

安定収益に支えられた
強靱な経営基盤

クオリティNo.1の実現

独立系の強みを活かした
ハイブリッド型
総合証券グループ

健全な利益の確保を通じた持続的成長

IV- 取組みテーマ

クオリティNo.1

Daiwa Securities Group Inc.

いよいよ転換点を迎える「貯蓄から投資」の中で、
お客様に最も選ばれるベストパートナーとなる

“クオリティNo.1”に向けた取組みを進化

徹底的なお客様目線での業務運営

ナレッジ

専門性の高い知識

スキル・テクニク

お客様への
ベストソリューション

マインド

お客様第一、コンプライアンス
チャレンジする高い志

大和証券グループの企業理念

信頼の構築

人材の重視

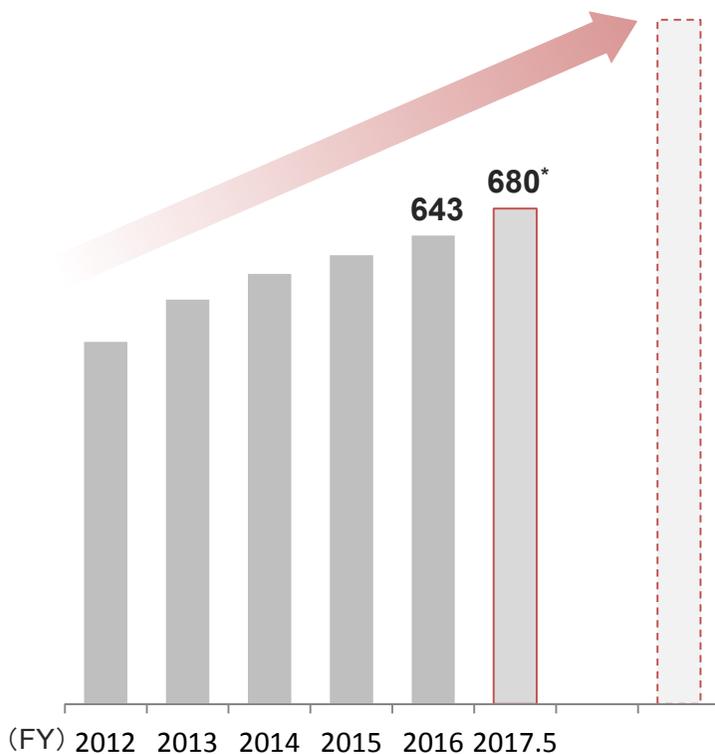
社会への貢献

健全な利益の確保

人材の育成

CFP認定者数は引き続き業界No.1を維持し、今後も更なる拡大を見込む
入社5年目までにナレッジ、テクニック、マインドを磨き上げる「Q-Road」を新たに導入

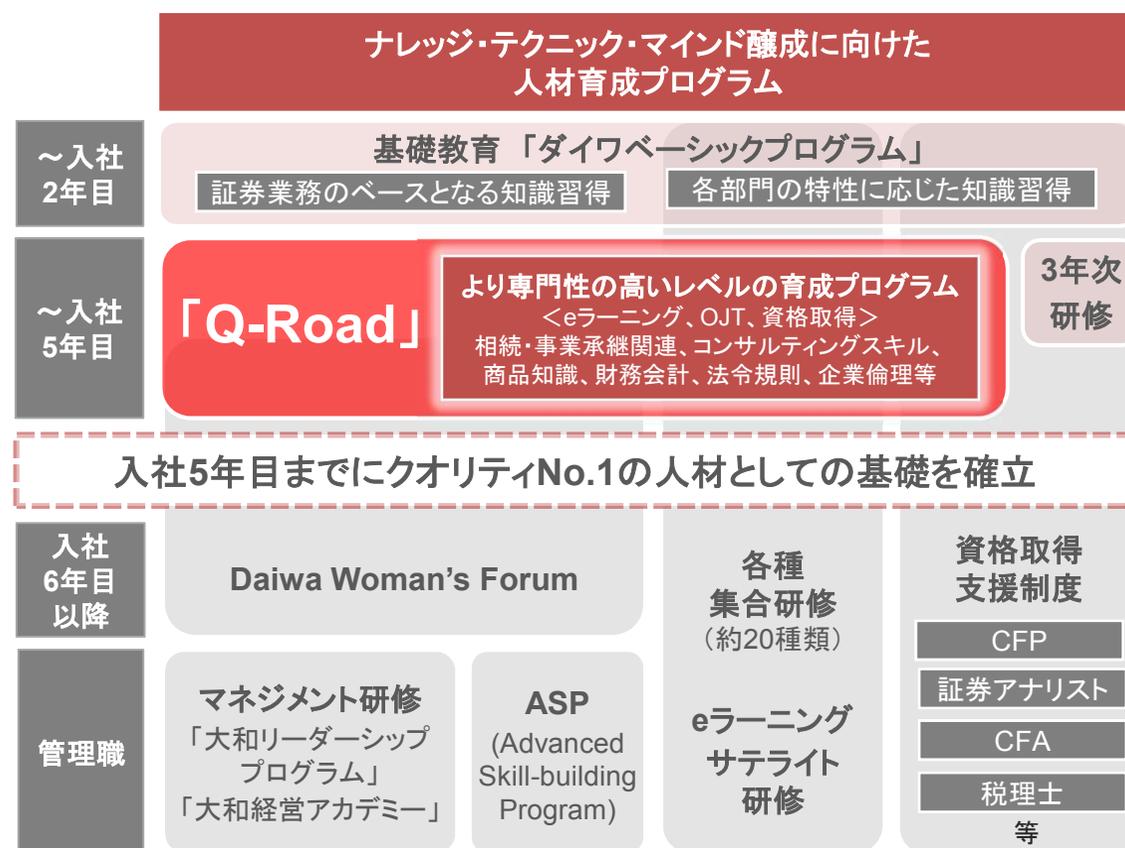
CFP認定者数推移



将来の認定候補者となる3~5科目合格者は約260名

*6科目合格者で認定手続き中の者を含む

人材育成プログラム「Q-Road」の導入



営業店の評価制度の拡充

お客様満足度をこれまで以上に営業店の評価へ反映することによる、営業活動の質の向上
店頭における人材育成・研修を含めた総合的な取組みにより、クオリティNo.1の実現を目指す

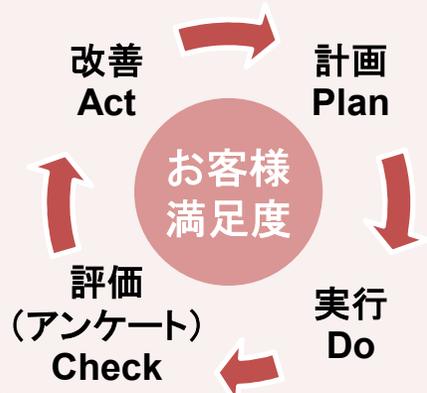
クオリティNo.1の実現に向けた営業店の評価制度の拡充

お客様満足度

定期的な「お客様アンケート」の実施

お客様アンケートの
質問項目例

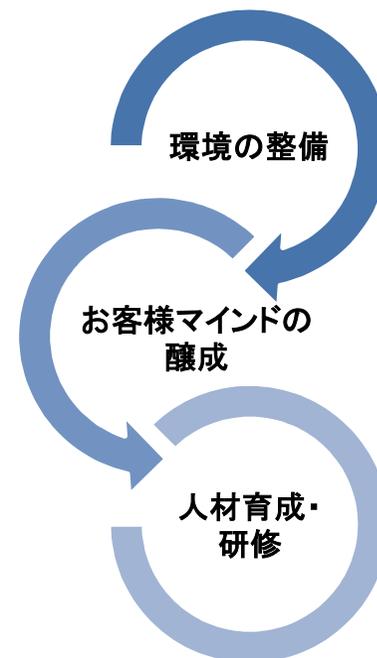
- ・ 取引について、お客様本位の提案であったか
- ・ 取引支店及び大和証券に対する総合満足度



営業店の評価へ更に大きく反映

店頭対応調査

店頭対応に関わる総合的な取組み



- サービス介助士・認知症サポーターの全店配置
- 筆談ボード・耳マーク・杖ホルダーの全店設置



- 定期的な研修の実施
- 外部機関による「店頭対応調査」の導入⇒評価のフィードバック

お客様目線でのベストな商品提供

投資信託の商品選定力を更に強化し、お客様目線でのラインアップ拡充を目指す
 ラップ口座サービスでは、拡充した商品ラインアップをベースとしたコンサルティング深化を推進

よりお客様目線を重視した商品ラインアップ・サービス機能の拡充

投資信託

商品選定力の強化

運用リターン

資金フロー

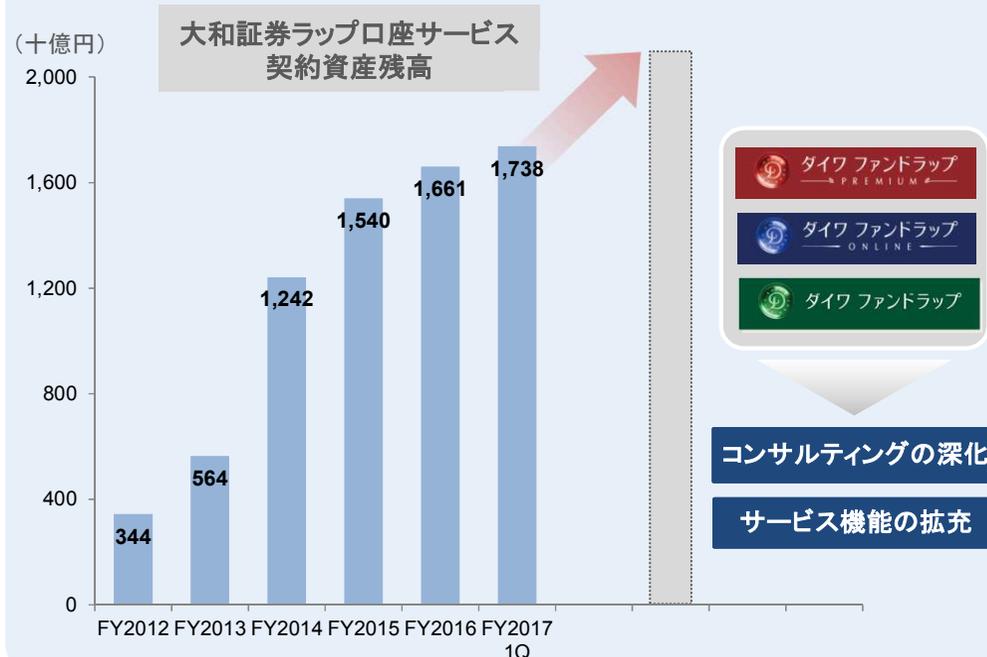
レーティング



評価の高い優良ファンドを
お客様目線で提供

ラップ口座サービス

コンサルティングの深化・サービス機能の拡充



付加価値の高いソリューション・サービス

相続コンサルタント設置店舗の拡大・新サービスの導入を通じたソリューション力強化を継続
順調にサービスを拡大してきたアジアPBは、より積極的な取組みを推進

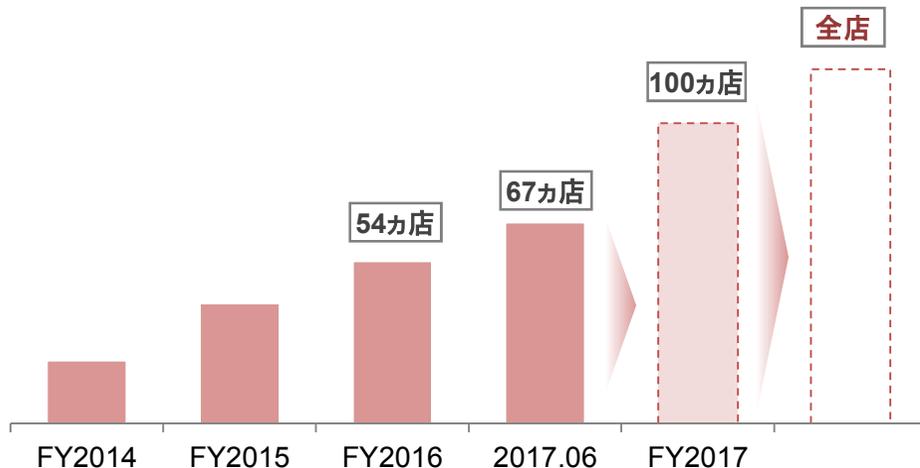
相続ソリューション提供

「相続コンサルタント」配置店舗数の拡大

相続コンサルタントの要件

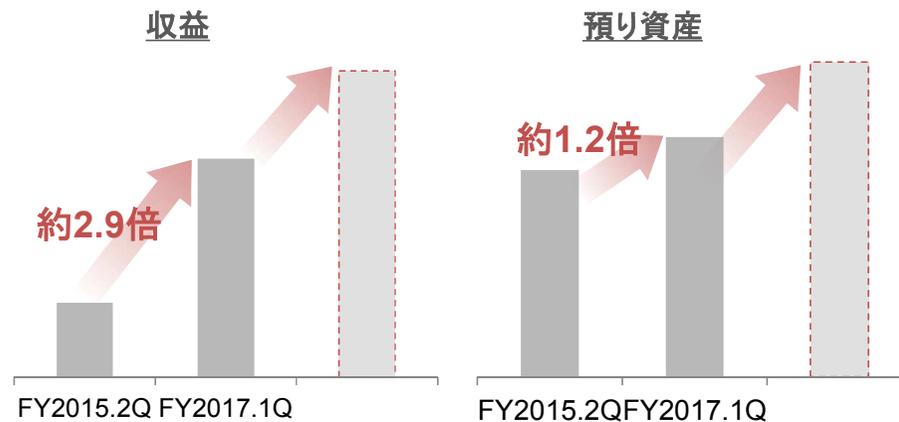
- CFP等の資格取得
- 社内研修プログラムの受講

早期の全店配置を目指す



富裕層向けサービス

「アジア・プライベートバンキング・サービス」の拡大



- アライアンスネットワークの活用（香港、タイ）
- ウェルスマネジメント部、PB部との連携

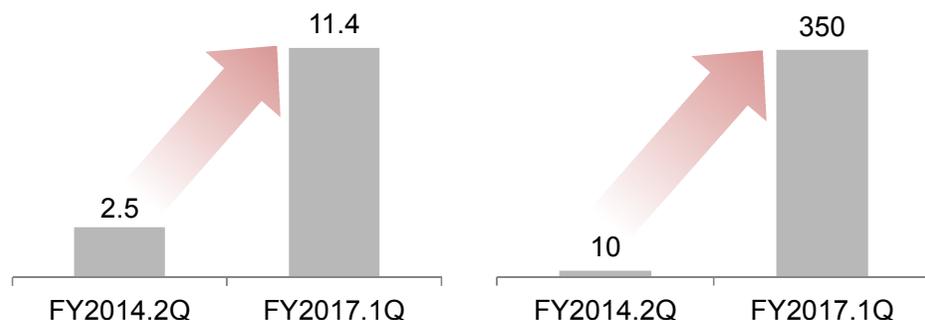
資産形成層のお客様向け商品・サービス

2018年1月の「つみたてNISA」開始に向けて、資産形成層目線の商品・サービスを拡充
iDeCo(個人型確定拠出年金)等の制度商品を通じて、「貯蓄から資産形成」を後押し

積立投資の促進

NISA積立登録口座数(万件)

NISA積立累計買付金額(億円)



NISA口座における年代別の積立サービス利用率は、
20～30代を中心とした資産形成層が特に多い

「つみたてNISA」に向けた商品などの拡充

「ダイワのiDeCo新プラン」の開始



ダイワのiDeCo新プラン

無条件で、運営管理機関手数料が
0円

商品ラインアップの充実

資産形成層向け
プロモーション

全国の営業店
セミナー

地方公共団体
へのアプローチ

「貯蓄から資産形成」の更なる後押し

IV- 取組みテーマ

ハイブリッド型総合証券グループ

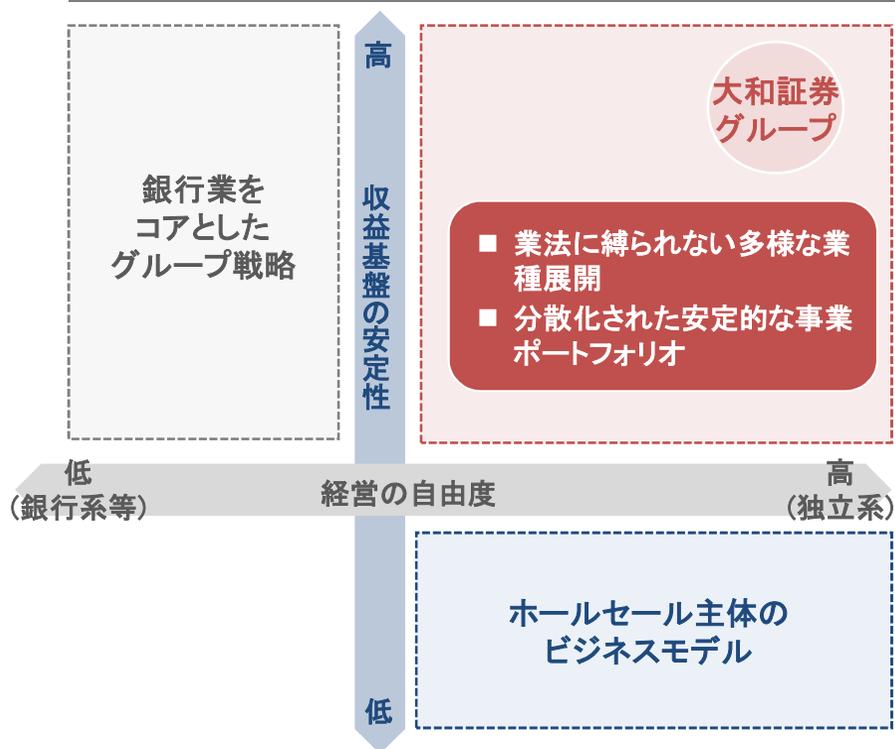
Daiwa Securities Group Inc.

グループビジネスの拡大戦略

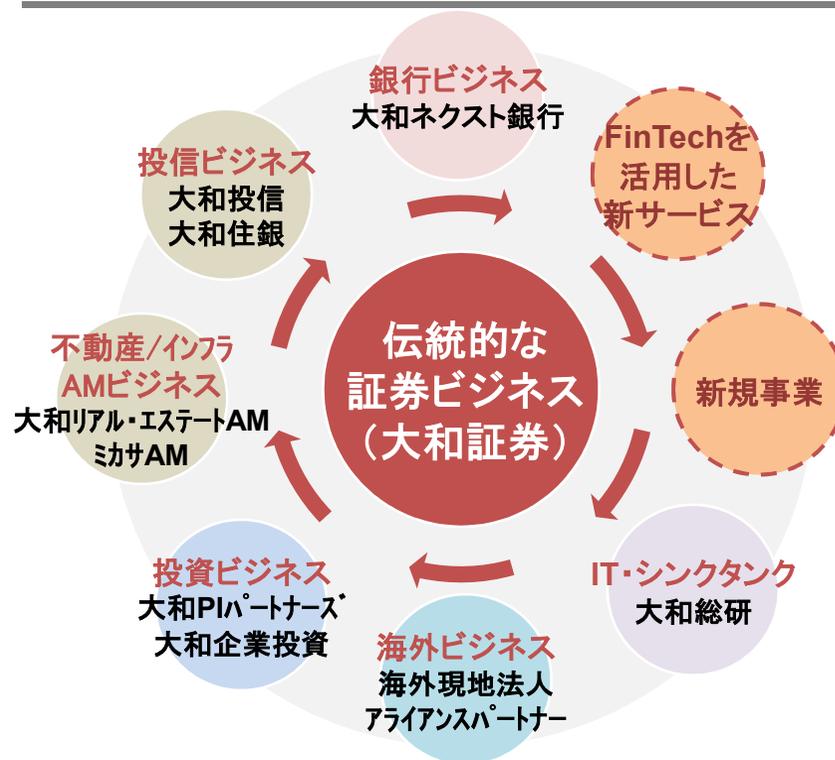
伝統的な証券ビジネス × 多様化された事業ポートフォリオのコラボレーション

ハイブリッド型総合証券グループ

証券ビジネスにおける優位なポジション



ハイブリッド型総合証券グループの概念図

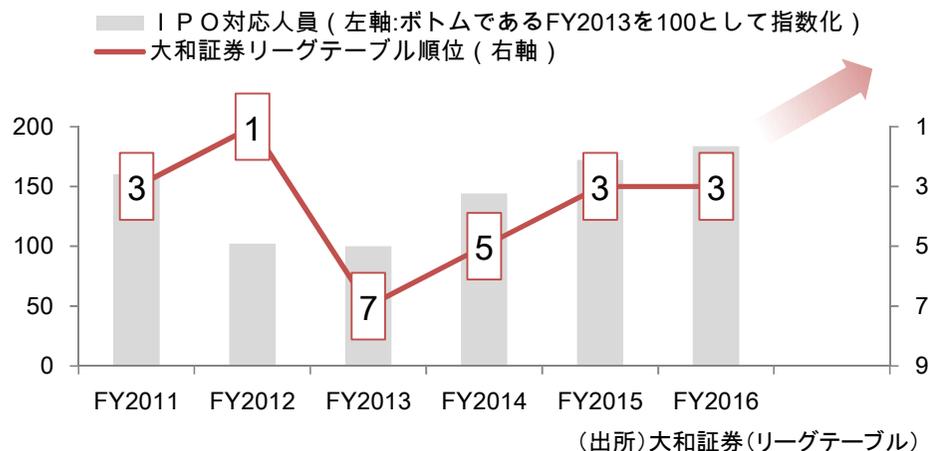


IPO案件獲得力の強化

伝統的な証券ビジネスに加え、グループ他社・新規事業分野との連携を最大限活用し、IPO案件獲得の拡大を図る

IPOリーグテーブル実績とIPO対応人員

- 人員拡充などの継続的な取組みにより、リーグテーブルが回復



“Daiwa Innovation Network”

- 大企業とベンチャー企業とのビジネスマッチングイベント

開催回数 (2013年～)

43回

延べ参加
ベンチャー企業数

233社

マッチング実績

10社以上

グループリソース・新規事業分野の活用

次世代成長企業の発掘・育成

M&Aソリューション
成長資金の供給

投資ビジネス

大和PIパートナーズ
Daiwa PI Partners大和企业投資
Daiwa Corporate Investment

新規事業・アライアンス

<産学連携プロジェクト>



<投資ファンド組成・出資>

DG Daiwa Ventures

DG LAB DGLAB FUND

資金調達、アドバイザービジネス
(伝統的な証券ビジネス)

公開引受 (IPO)

引受ビジネス

M&Aアドバイザー

グローバルネットワークを活用したM&A案件の推進

ネットワークの連携強化と提携先を活用したネットワーク拡充によるソリューション提供推進により、グループ連結のM&A収益は大幅に増加

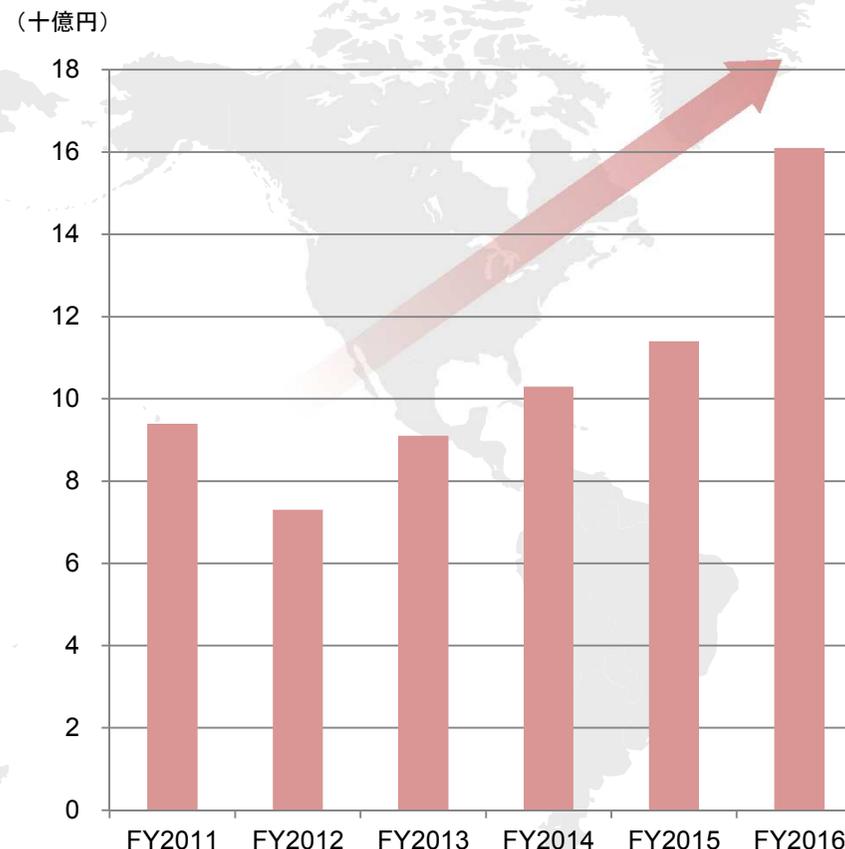
M&A グローバルネットワーク

欧州	東京	アジア	米州
		Daiwa Capital Markets (海外拠点) および アライアンスパートナー	 

■ 日本企業が関わった主なクロスボーダー案件と海外案件

<u>ダイキン工業(日)</u> による Zanotti (伊) の買収	<u>★凸版印刷(日)</u> による Max Speciality Films (印)の取得	<u>★大正製薬(日)</u> による DHG Pharma (ベトナム) の買収	<u>IDEC(日)</u> による APEM Group(仏) の買収
<u>永谷園HD及び 産業革新機構(日)</u> による Chaucer Food Group(英)の 買収	<u>共英製鋼(日)</u> による BD Vinton(米) の買収	Micheldever(英) の住友ゴム工業 (日)への売却	<u>ダスキン(日)</u> によるBig Apple Worldwide Holdings (マレーシア)の買収
<u>Daily-Tech(中)等</u> による Global Switch (英)の取得	<u>Clivet(伊)</u> のMidea(中) への売却	<u>NetNames(英)</u> のCSC(米)への 売却	<u>Rossignol(仏)</u> による Felt Bicycles(米) の買収

グループ連結M&A収益の推移



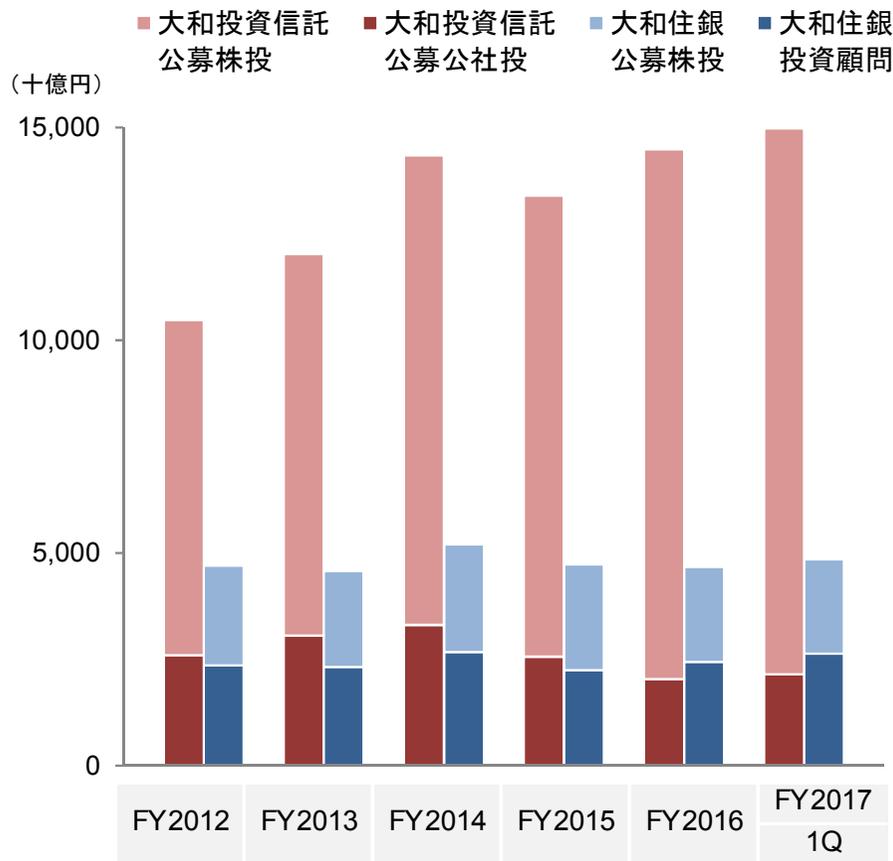
※★:アライアンスパートナーとの協働案件

※下線は当社顧客

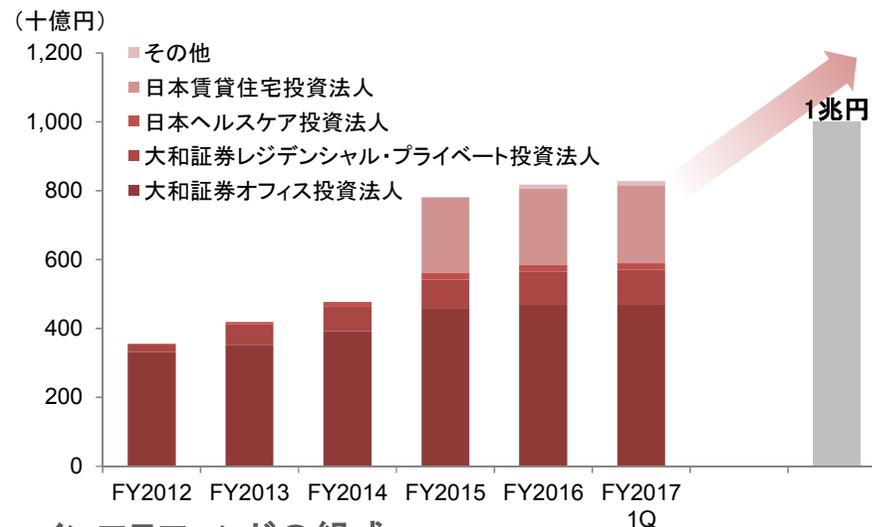
アセット・マネジメントビジネスの多角化

不動産アセット・マネジメントビジネス運用資産残高は1兆円が視野に
 インフラ分野のアセット・マネジメント事業の拡大により、グループ安定収益の多様化を図る

大和投資信託・大和住銀投信投資顧問 運用資産残高



不動産アセット・マネジメントビジネス 運用資産残高



インフラファンドの組成



エクイティ規模	投資対象
1号ファンド	40.4億円
2号ファンド	167.7億円
3号ファンド	484億円

日本・アジア地域のエネルギー事業等に対する投融資



※画像は既存ファンドの投資先

FinTech（フィンテック）に対する取組み

「金融イノベーション連絡会」を設置し、グループ横断的な情報共有・協業体制を構築
グループ会社、ベンチャー企業との協業により、実用化に向けた検討を推進

AIによる株価予測モデルの活用【新サービス】

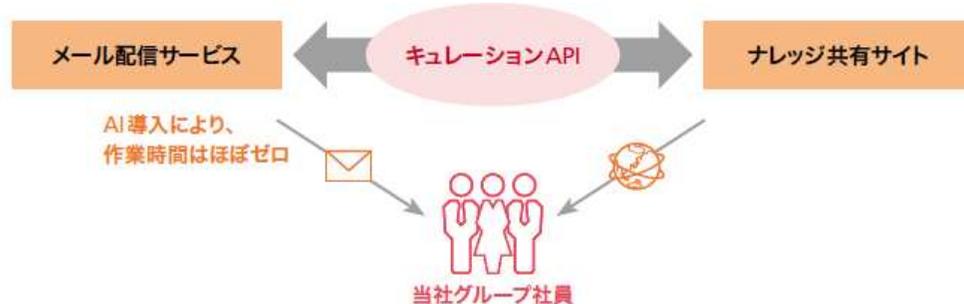
2017年5月より、大和証券のお客様に対し、営業員やリサーチレポートなどを通じて投資や運用の参考情報の提供を開始

モデルによる分析の仕組み



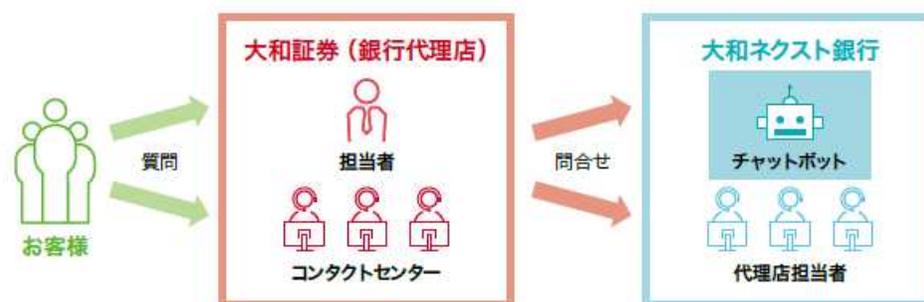
キュレーション技術の活用【業務効率化】

- キュレーション: ネット上にて収集した情報を、指定されたテーマ(トピック)に従って抽出する人工知能技術



チャットボットサービスの活用【業務効率化】

- チャットボット: WEBサイト上のチャットウィンドウで自動回答する自動会話プログラム



V - 株主還元・株主優待

Daiwa Securities Group Inc.

積極的な株主還元の継続

2016
年度
実績

配当

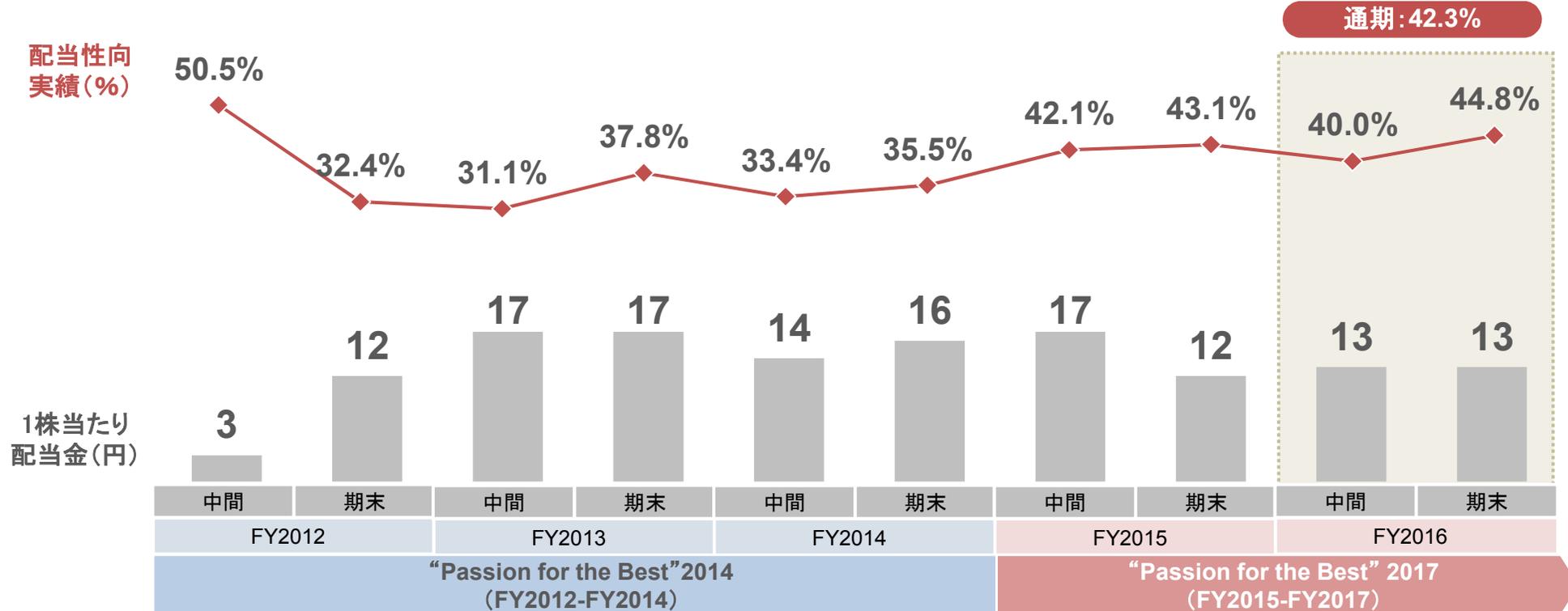
年間配当26円(中間配当13円、期末配当13円)、通期配当性向42.3%

自己株式取得

取得株式総数:2,700万株、取得価額総額:189.9億円(上記により、総還元性向は60.4%)

自己株式消却

消却する株式の種類:普通株式、消却日:2017年3月31日
消却株数:5,000万株(消却前の発行済株式総数に対する比率2.86%)



株主優待制度の採用

保有株式 1,000株～2,999株	保有株式 3,000株～4,999株	保有株式 5,000株～9,999株	保有株式 10,000株以上
株主優待品(2,000円相当) カタログから1点	株主優待品(2,000円相当) カタログから2点	株主優待品(5,000円相当) カタログから1点	株主優待品(5,000円相当) カタログから2点

オリジナル壁掛けカレンダー ご希望によりお届け(3月末株主優待時に実施)

2016年3月末株主優待より

株主優待品カタログにおける掲載商品数を大幅に拡充

当初16品 ▶ 50品

株主優待 制度の変遷

- 2002年3月末
 - 株主優待制度を開始
- 2008年3月末
 - カタログ制度を導入
 - 当初のカタログ掲載商品数は16点
- 2010年9月末
 - 保有株数に応じた株主優待区分を拡充
- 2016年3月末
 - カタログ掲載商品数を50点に拡充
- 2016年9月末
 - ウェブによる申込開始

2017年3月末 株主優待の商品例

とらや
羊羹



アサヒ
スーパードライ



サン・
ダルフォー
ジャム



南魚沼産
こしひかり



Appendix

Daiwa Securities Group Inc.

【URL】 <http://www.daiwa-grp.jp/>

大和証券グループ本社
Daiwa Securities Group Inc.

ホーム | 大和証券グループについて | ニュースリリース | **株主・投資家情報** | CSR | 採用情報 | 会社情報

株主・投資家情報
Investor Relations

2017.07.27 2017年度第1四半期決算を発表しました
決算短信はこちら
決算説明資料・電話会議の録音配信はこちら

2017.06.18 2017年度経営戦略説明会を開催しました
5月18日(木)アナリスト・機関投資家・報道関係者向け経営戦略説明会を開催しました
説明資料はこちら

2017.04.28 2016年度第4四半期決算を発表しました
決算短信はこちら
決算説明資料・電話会議の録音配信はこちら

2017.01.30 2016年度第3四半期決算を発表しました
決算短信はこちら
決算説明資料・電話会議の録音配信はこちら

大和証券グループ本社
Daiwa Securities Group Inc.

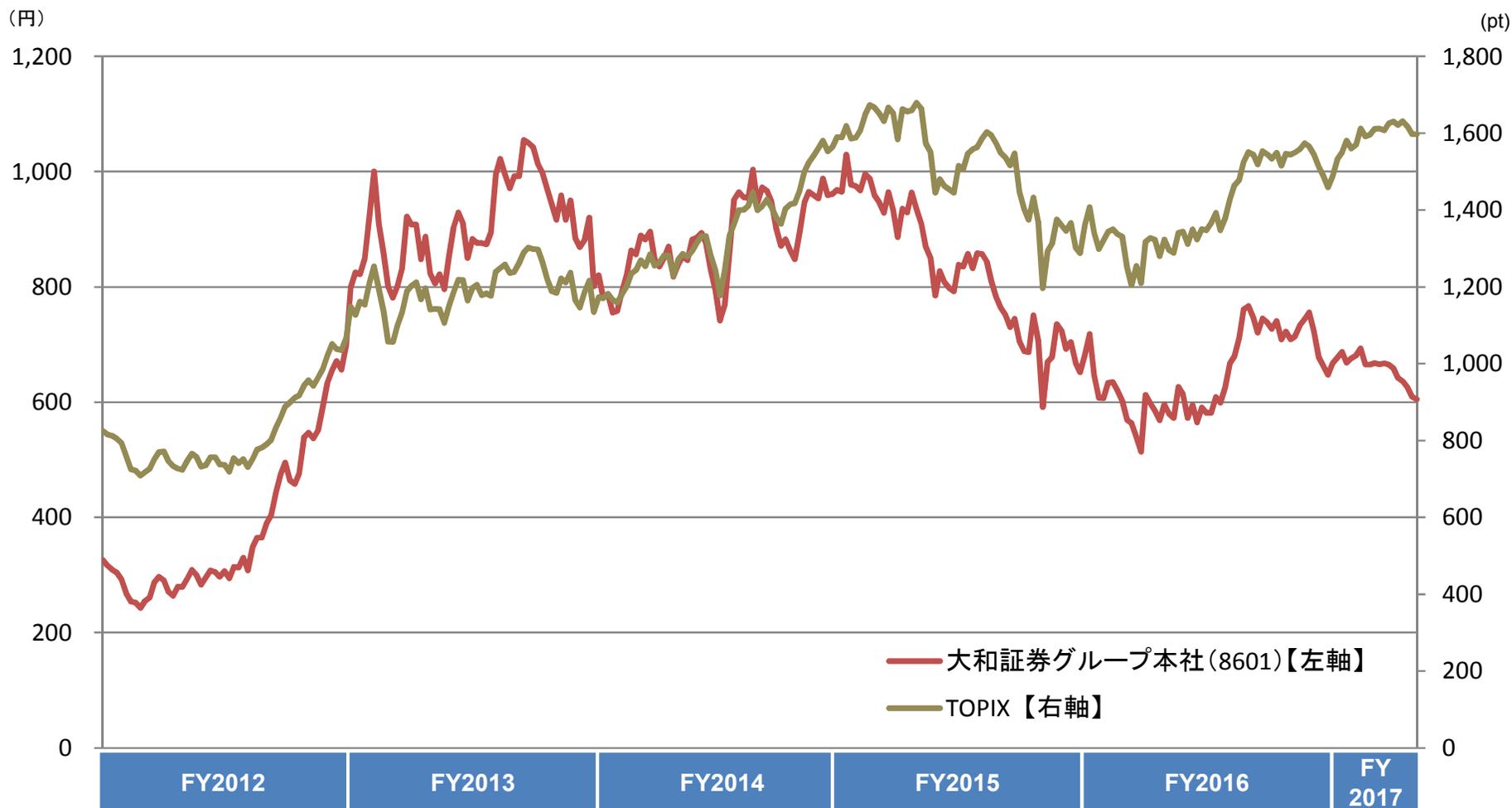
IR情報ダイジェスト

株主・投資家の皆さまへ

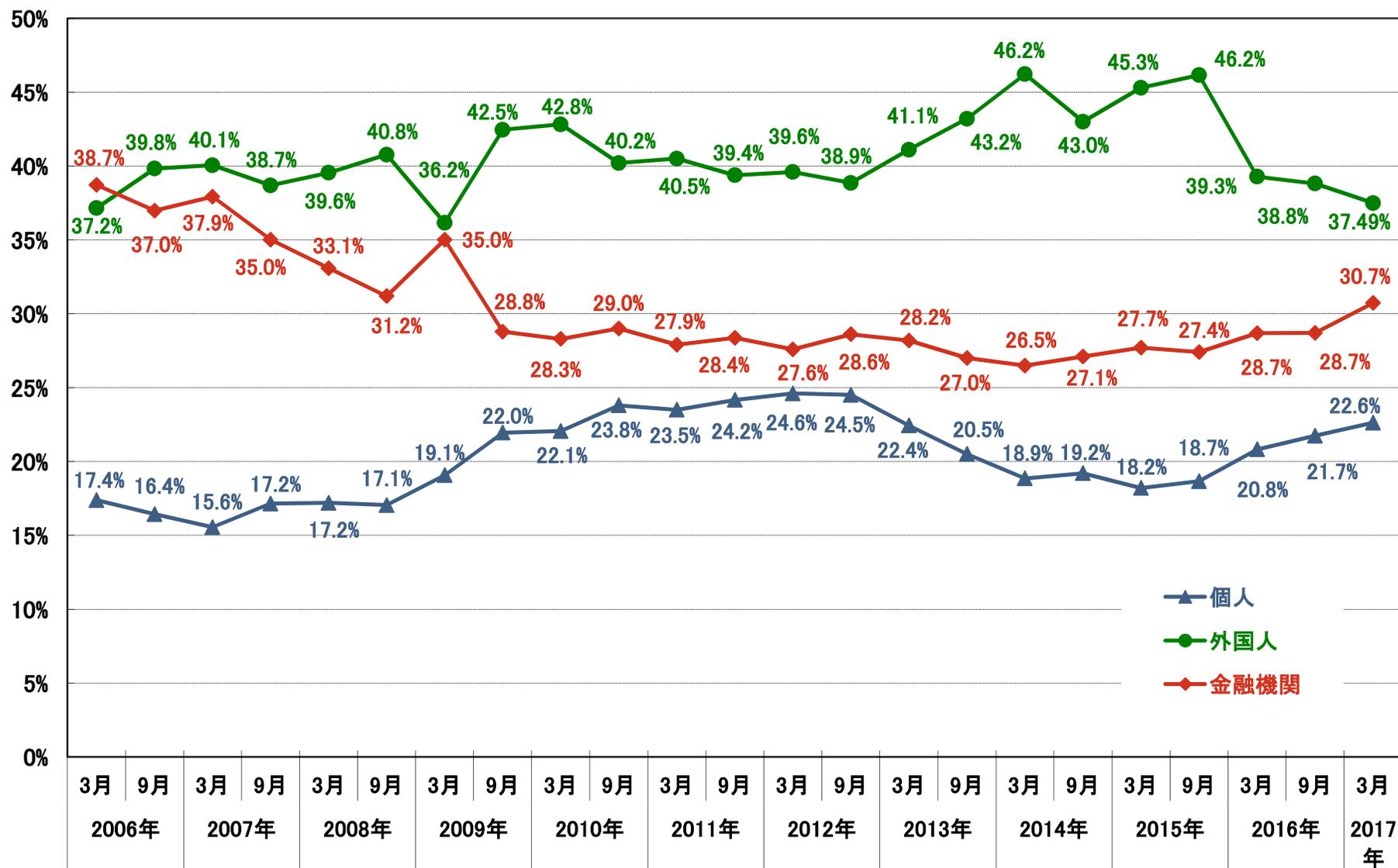
株式会社大和証券グループ本社
執行役社長 (CEO)
中田 誠司

- 大和証券グループについて NEW 詳しく見る
- 業績について NEW 詳しく見る
- 株主優待・配当金・株主総会 詳しく見る
- 最新のIR資料 NEW 詳しく見る

大和証券グループ本社株価推移(週次) 2012年4月～2017年8月

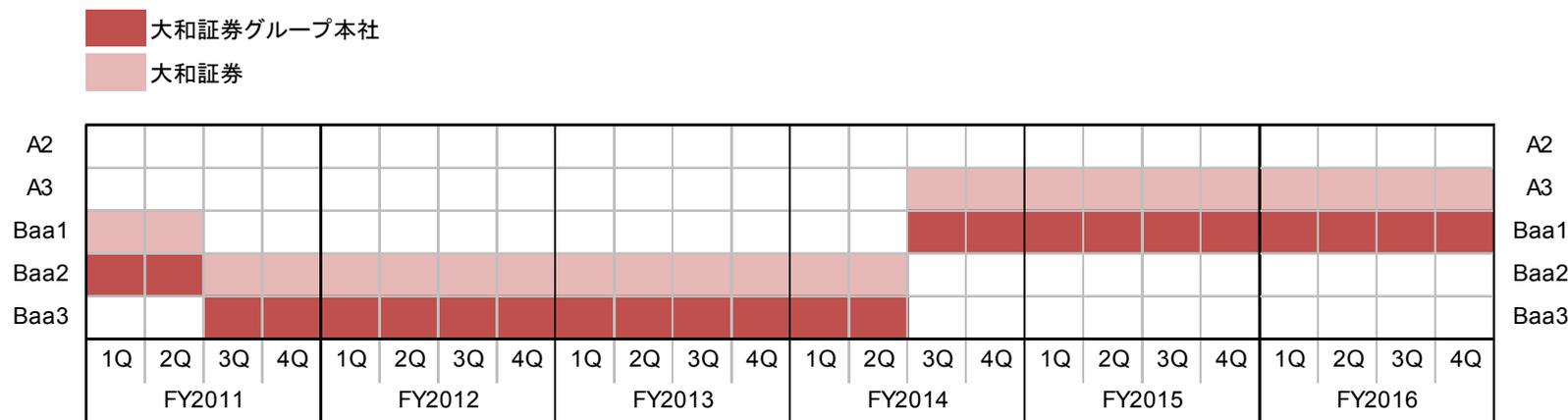
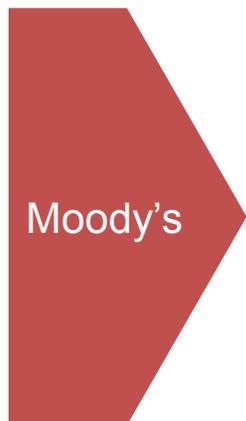
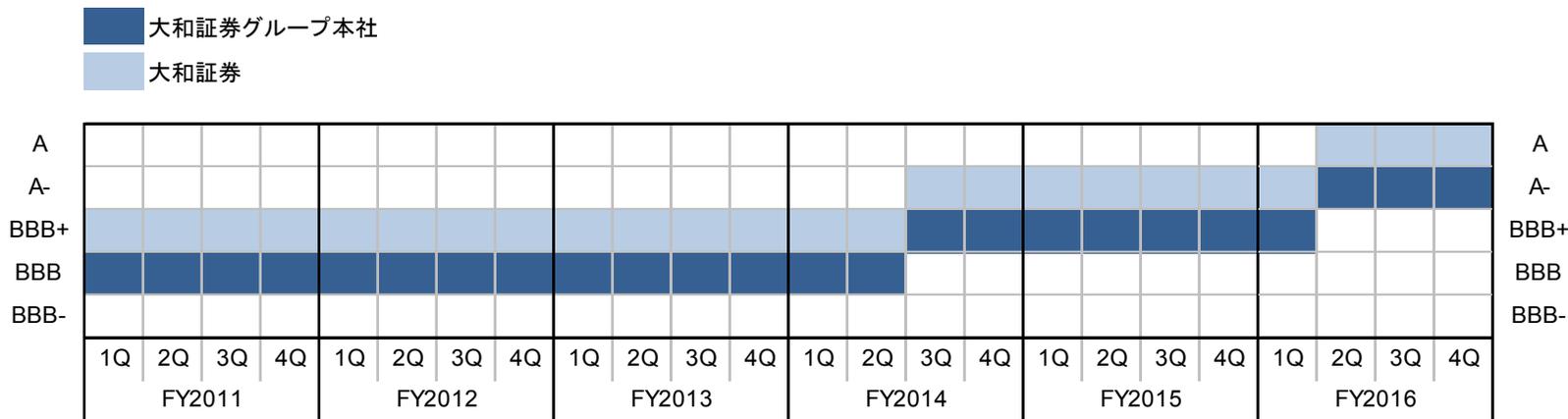


投資主体別保有割合の推移



* 発行済株式総数をもとに計算

大和証券グループ本社および大和証券 格付け推移



PASSION
FOR THE
BEST